

事業所名

児童発達支援センター六甲ふくろうの家

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

6日

法人（事業所）理念	楽しくあそび 一緒にあそび 学び 認めて ほめる								
支援方針	感覚・運動あそびでのからだづくりで聞く力を育てる								
営業時間	8時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣(挨拶・手洗い等)やスキル(片付け・食事や衣服の着脱の自立等)自ら意欲的に取り組めるよう個々に合わせた支援を進める。「できた」という成功体験を積み自己肯定感の向上を図る。							
	運動・感覚	ジャンプ・走る・登る等大きく体を動かす粗大運動を繰り返し体幹を鍛えたり、力のコントロールを身につける。また、遊びを通して子どもの好きな感覚を見つけ楽しみながら支援を進める。							
	認知・行動	語彙力の拡大・習得とことばの意味理解を促す必要がある。そのためカードを使ったマッチングや言葉遊びを取り入れ認知につなげる。							
	言語 コミュニケーション	遊びを通して人と人との関係構築のためのコミュニケーションスキルを育む。一日の予定を知らせたり、活動の振り返りを通して見通しをつける力や思い起こす力を養う。							
	人間関係 社会性	人と人との関わりが円滑にできるように集団での遊びを通してソーシャルスキルを育てていく。支援者が介入し一緒に遊ぶことで子どもの「楽しい」「できた」を引き出す。							
家族支援	保護者向けの就学説明会等、情報交換や悩みを吐き出す場を設け育児を孤立化させない。定期的に子どもの様子を見ることができる参観や面談を実施している。				移行支援	定期的な支援者会議を開き子どもや保護者のニーズや希望に合った進路を選択できるように相談・サポートをしている。			
地域支援・地域連携	子どもが通う幼稚園・保育園等と情報共有し連携を取っている。また他事業所とも情報共有し子どもの支援につなげる。				職員の質の向上	専門家による外部研修の参加やZOOMを用いた社内研修を開き発達特性や支援方法等の専門性向上と日々の支援につなげている。			
主な行事等	季節に合わせた行事(プール遊び、ハロウィン、修了式等)								